

倫理

第3問 問4

カントの思想をふまえて論理的に考察する問題

問4 下線部③に関して、次の文章は、自由を論じたカントの思想についてある生徒が調べて作成した読書ノートの一部である。カントの思想を踏まえて、読書ノート中の ・ に入る記述の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

読書ノート

カントは、自由を、 ことだと考えた。この自由についての考え方は、私が考えていた自由の理解とは大きく異なるものだと感じた。私はこれまで「眠くなったら、眠気に逆らわずに寝る」というようなことが自由だと思っていたが、カントによれば、それは自由ではない。むしろカントは、 自由な人格に尊厳の根拠を見いだしている。そして、 理想の道徳的共同体を目的の王国とした。

- ① a 感覚や知覚からなる経験から推論する
b 各人が各々の欲求の充足を人格の目的として最大限追求しながら、誰もがその目的を実現できる
- ② a 欲望から独立して自分を規定する
b 各人がお互いの自由を尊重して、自分だけに妥当する主観的な行動原則を目的として行動できる
- ③ a 自らが立法した道徳法則に自発的に従う
b 各人が全ての人格を決して単に手段としてのみ扱うのではなく、常に同時に目的として尊重し合う
- ④ a 自然の必然的法則に従う
b 各人が公共の利益を目的として目指す普遍的な意志に基づき、徳と幸福とが調和した最高善を目指す

2023年度大学入学共通テスト「倫理」

受験者数: 19,871人
平均点: 59.03点
標準偏差: 15.53

出題の特徴

カントの自由や目的の王国についての考え方の理解をもとに、読書ノートの空欄に入る記述の組合せを選ぶ問題です。「自ら立てた道徳法則に自発的に従うことが自由である」、「人格を手段としてのみではなく常に同時に目的として扱う」、「目的の王国」といったカントの思想を理解していることで正答を導きました。

カントの基本的な思想を正確に理解しているか、またそれを論理的に思考できたかが問われました。

指導のご提案

基本的な知識の理解と論理的な思考力が求められる問題は、共通テストでも複数出題されました。

まずは、思想家や思想内容について、重要な語句や用語は単に覚えるだけでなく、その意味内容を正確に理解しておくことが重要です。また、さまざまな思想家の共通点や相違点、ほかの思想家や思想への影響や批判なども含めて理解を深め、思想家の考えを体系的に把握しておくことで、より深い理解につながります。

それに加えて、資料を使って、読解力や多面的・多角的に考察する力などが求められるので、教科書や資料集で原典にふれて読解力をつけることが大切です。

教材のご紹介

教材のご紹介 … 「進研WINSTEP 倫理 [改訂版]」



定価 980円 (税込み)

活用できる知識を習得し、解答する力を身につける

カントが考える自由と、カントが理想とした目的の国がどのようなものかを理解していれば、問4のaにはカントの自由とは自らが立法した道徳法則に自発的に従うものであること、bには人格を手段としてのみではなく常に同時に目的として扱うということが当てはまると判断できます。

カントの思想をふまえて論理的に考察する問題

頻出ポイント2 カントの道徳論



カントは人間の尊厳のあり方をどこに求めたのかをおさえよう。

道徳に法則はある?	A 人間が自らの理性によって立て、これに自発的に従う 道徳法則 がある 人間には、 実践理性 によって、自ら法を立てそれに従う意志の (4) の能力がある=真の自由
行為の善悪は何で決まる?	A (4) =善をなそうとする意志で決まる 行為の善悪は、結果で判断せず (5) で判断する= (5) 説
道徳法則はなぜ普遍性を持つのか?	A 無条件に「～せよ」という(6) 命法の形をとるから →これに対し、「もし～ならば、～せよ」という命法は、 仮言命法 という
行為の原則とは?	A 「汝の意志の(7) が、常に同時に普遍的立法の原理として妥当しうるように行為せよ」 ↑ =個人の主観的な行動基準のこと
カントがめざしたものは?	A 道徳の主体としての人間である (8) の尊厳を重視した= (8) 主義 自他の人間性を 目的 として扱い、決して単に (9) としてのみ扱わない人間のあり方
カントが理想とした社会は?	A 各人が互いの (10) を目的として尊重しあう社会= (10)

入試頻出の知識を「使える状態」に整理し、3年生2学期からの本格的な実践演習へ

「2024共通テスト対策【実力完成】直前演習 倫理」(2023年6月発刊)